

(様式1) 実践事例

学校名	二本松市立杉田小学校	校長名	加藤 純一		
住所	二本松市中江195番地1	児童生徒数	223	学級数	12
TEL	0243-22-0704	ホームページアドレス	http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/site/sugita-es /		

より個に応じるための授業づくり

1 少人数指導の計画等

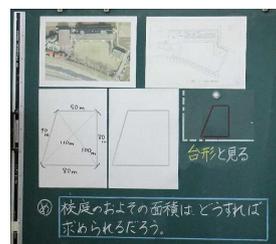
少人数のよさを生かし、個の多様な考えに対応するための取組

- ① 個の的確な把握：諸テストやアンケートの分析、学習カルテ・座席表の活用
- ② 「考える場」の設定：課題の工夫、学習材の工夫、既習の知識・技能の活用
- ③ 「学び合う場」の設定：小集団での話し合い、本時の学びの活用
- ④ 学習形態の工夫：T・Tによる指導、コース別学習、習熟度を加味した指導
- ⑤ 授業を支える取組：学習意欲、学習の仕方、認め合う学級づくり

2 実践の概要（5年 算数科 四角形と三角形の面積）

(1) 手立て

- ②-1 身近で複数の解決方法のある課題の設定
- ②-2 見通しに応じて必要な値を書き込むワークシート
- ④-1 T・Tによる指導



(2) 授業の実際

- ②-1 「校庭のおよその面積は、どうすれば求められるだろう。」

写真から、校庭の形は台形と見ることができ、台形の面積を求めることで、校庭のおよその面積が分かるという見通しをもたせ、解決の意欲を高めた。

提示した台形は、問題を解決するのに必要な情報は何かを判断選択させるために、情報過多の状態では値を示した。

- ②-2 解決の見通しに応じて必要な情報を明確にして書きこみ、自力解決ができるようなワークシートを準備した。



- ④-1 自力解決の段階で、T・Tの機能を

生かし、互いに情報を交換しながら個別指導を行い、児童の思考に対応した。つまづいている児童には、「上底」「下底」「高さ」を明らかにして値を選択させ、公式にあてはめて解決できるように支援した。

3 実践の成果と課題 ○：成果 ●：課題

- 解決方法が複数ある課題を設定することにより、一人一人が自力解決に取り組むことができるようになってきた。
- 様々な学習形態を取り入れることにより、話し合いや追求活動に主体的に取り組むことができるようになってきた。
- T・Tにより複数の目で見ると、児童理解が深まり、一人一人のよさの再発見につながった。
- 学習カルテをより工夫し、一人一人を育てる評価について研究を深める。
- T・Tによる指導法の改善に努める。